

250430【大分別府】の収束について



【大分別府】の収束について いまでも繰り返して載せていますが、最新のデータを元にその推移を見て行きます。【大分別府】が2月20日頃に急に減衰して、最初の臨時メールを配信してから、本日4/30で約2か月と10日ほど経ちます。その間3/24頃に緑の塊状データが出て、きれいな減衰になり4/6頃に収束し、さらに4/23～24にかけて幅のある緑の1本立ちが出ました。そしてその1本立ちの後、4/28にはデータが100以下になってほぼ収束しています。このデータは、すぐに発震があっても不思議ではないレベルですが、この後、しばらく増減があつてからの発震になる事も考えられます。

地震予知では、地震の規模、震源の場所の2要素はデータから比較的わかりやすいですが いつ地震が起きるのか、発震日は？となると、データの収束のタイミングによりますが 必ずしも データが完全に収束した時ではありません。その前後数日から数週間かかることもあり警戒は続けるべきと考えます。以下に関連のデータを載せます。

今回の【大分別府】のデータと地震発生の予測

【大分別府】 720 日間データ



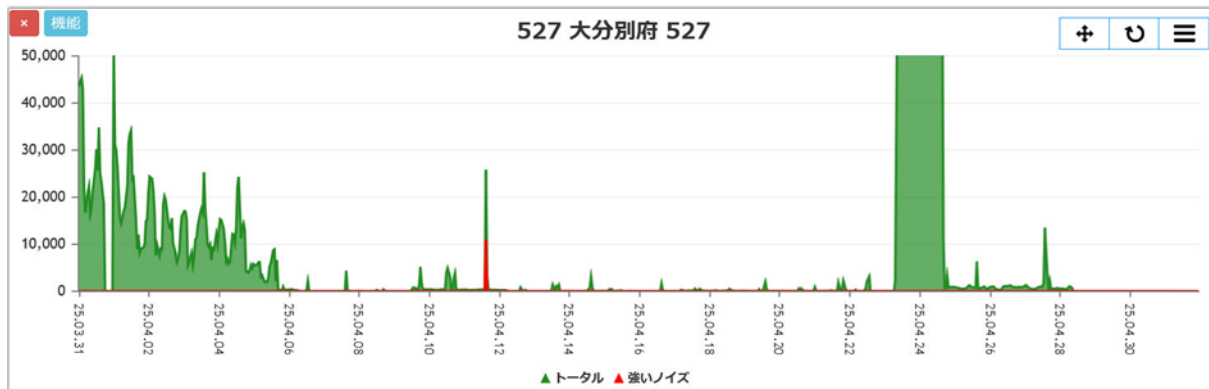
【大分別府】 180 日間データ



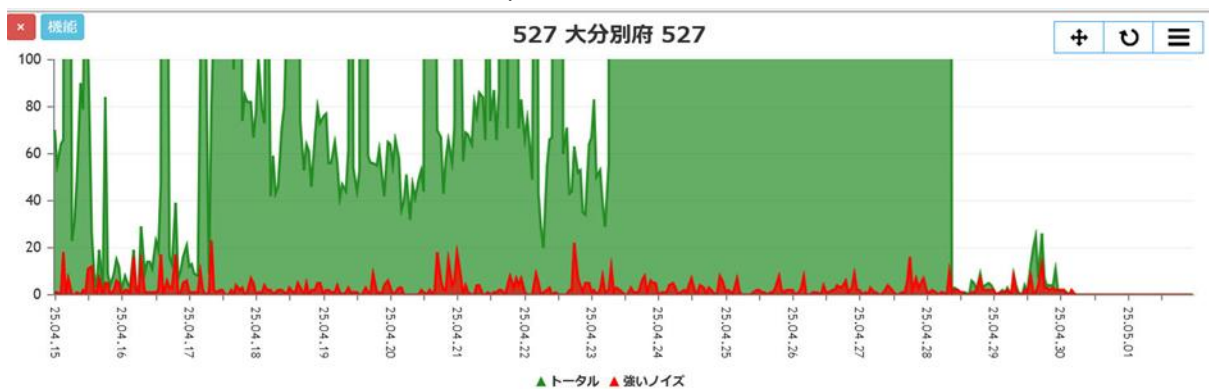
【大分別府】90 日間データ > 2/20の急な減衰の後、3/25から緑の減衰データが出ている。



【大分県別府】 30 日間データ（拡大）＞4/6 に一旦減衰、4/23～24 に幅のある 1 本立ちが出た。



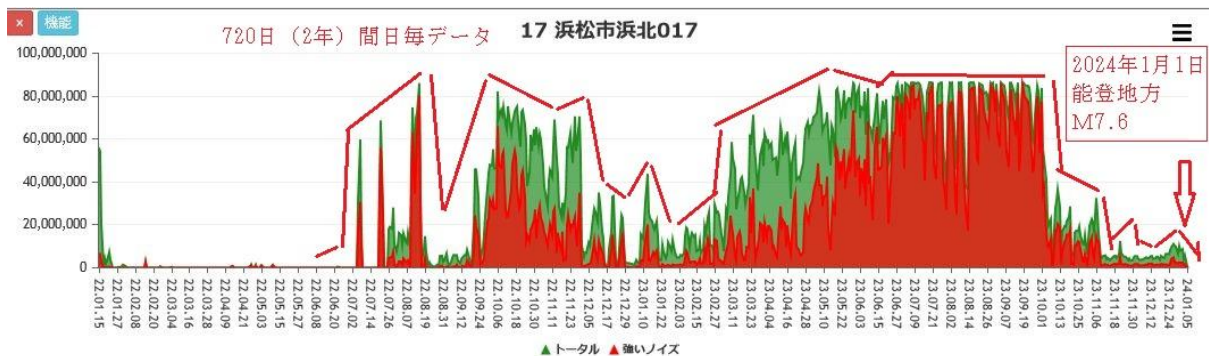
【大分県別府】 15 日間データ（拡大）＞4/28 にほぼ完全に収束して いつ発震でもおかしくない。



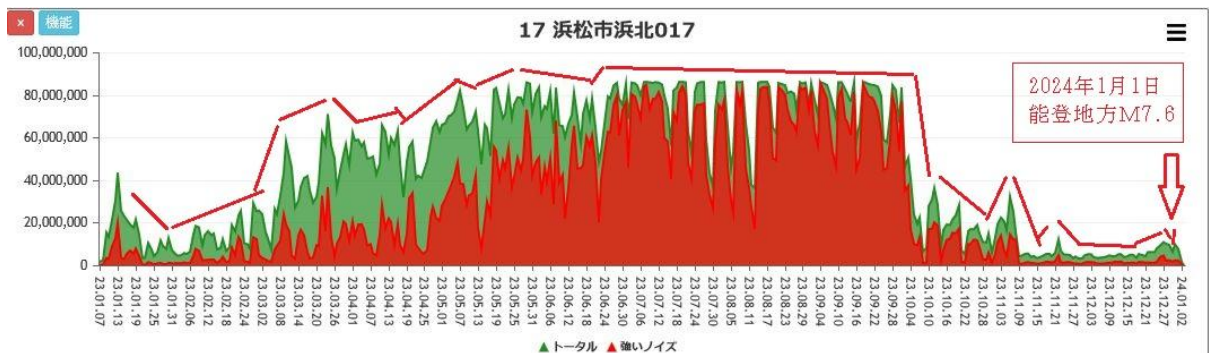
過去の事例について＞ いずれもデータの急な減衰から 1 か月以上かかって発震している。

例 1 【浜北 017】のデータと 240101 能登地震 M7.6 の発震時期について

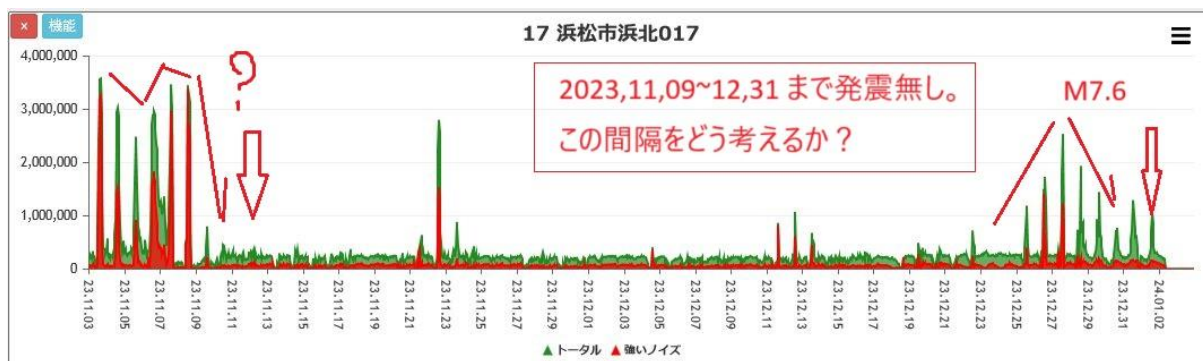
【浜北 017】 720 日間データ



【浜北 017】 360 日間データ

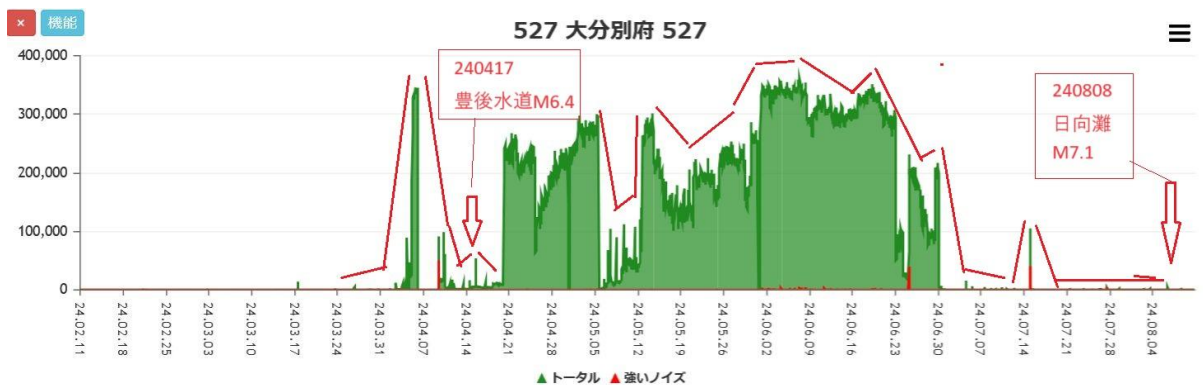


【浜北 017】 90 日間データ



例 2 【大分県府】のデータと 240808 日向灘 M7.1 との関係

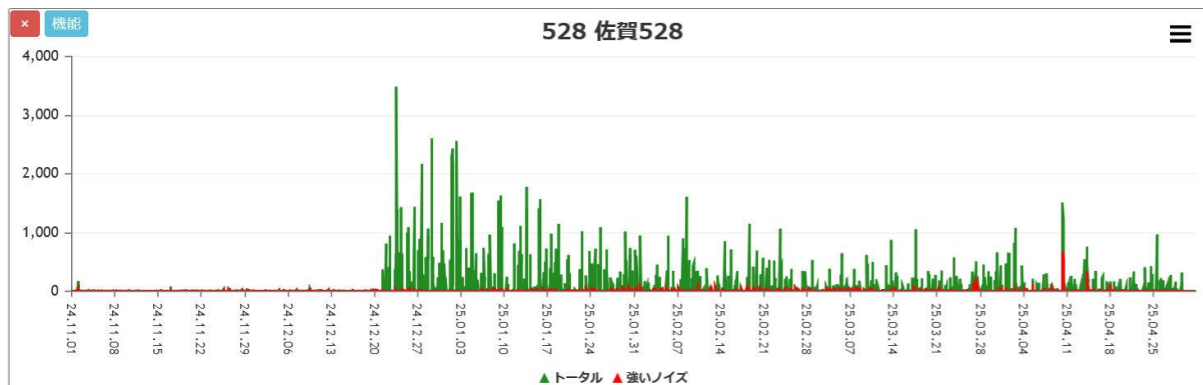
【大分県府】180 日間データ



【大分県府】 90 日間データ



今回 その他 【佐賀】180 日間データ > 増減はあるが、減衰傾向が続く。



【熊本宇城】 90 日間データ > 【大分別府】には同期がなく、別の動きと思われる。

